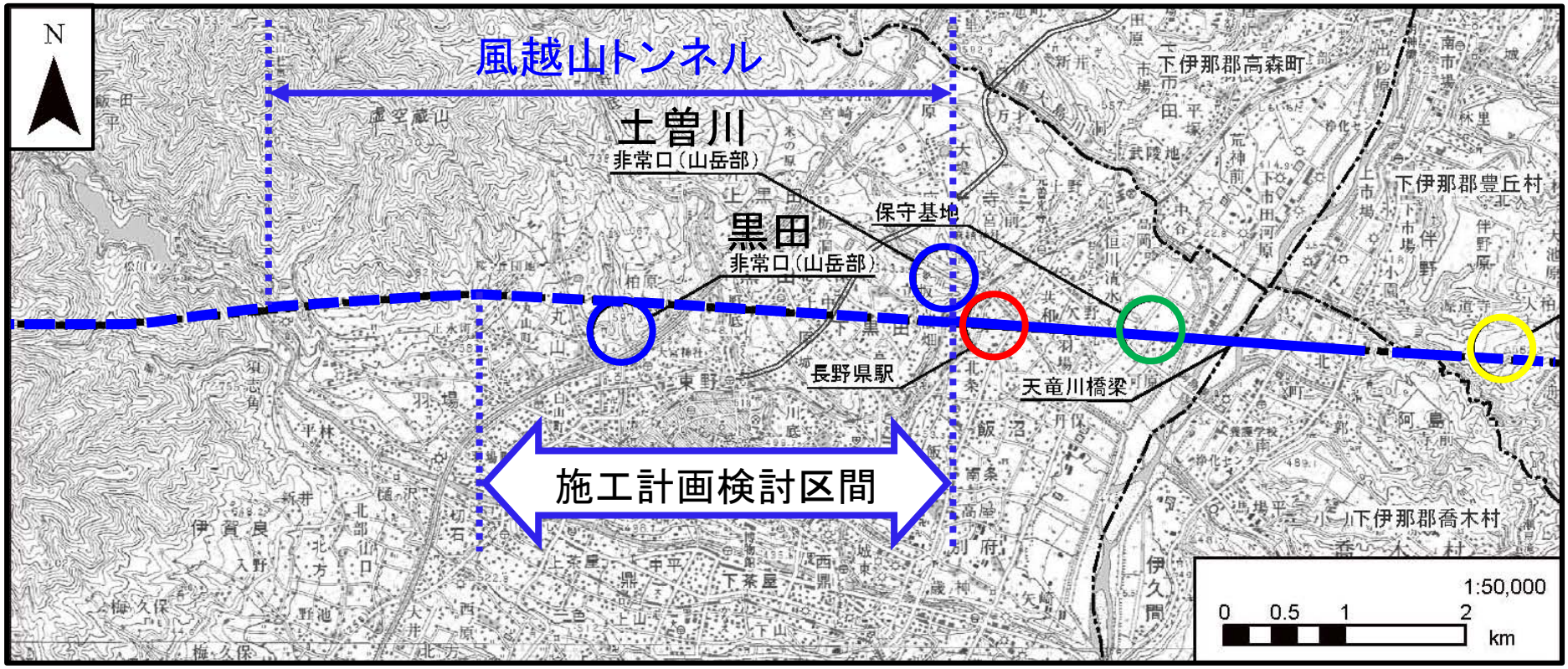
資料NO.1

風越山トンネル施工計画の検討状況
（北条地区）

令和元年5月16日

東海旅客鉄道株式会社

風越山トンネルの施工計画検討経緯



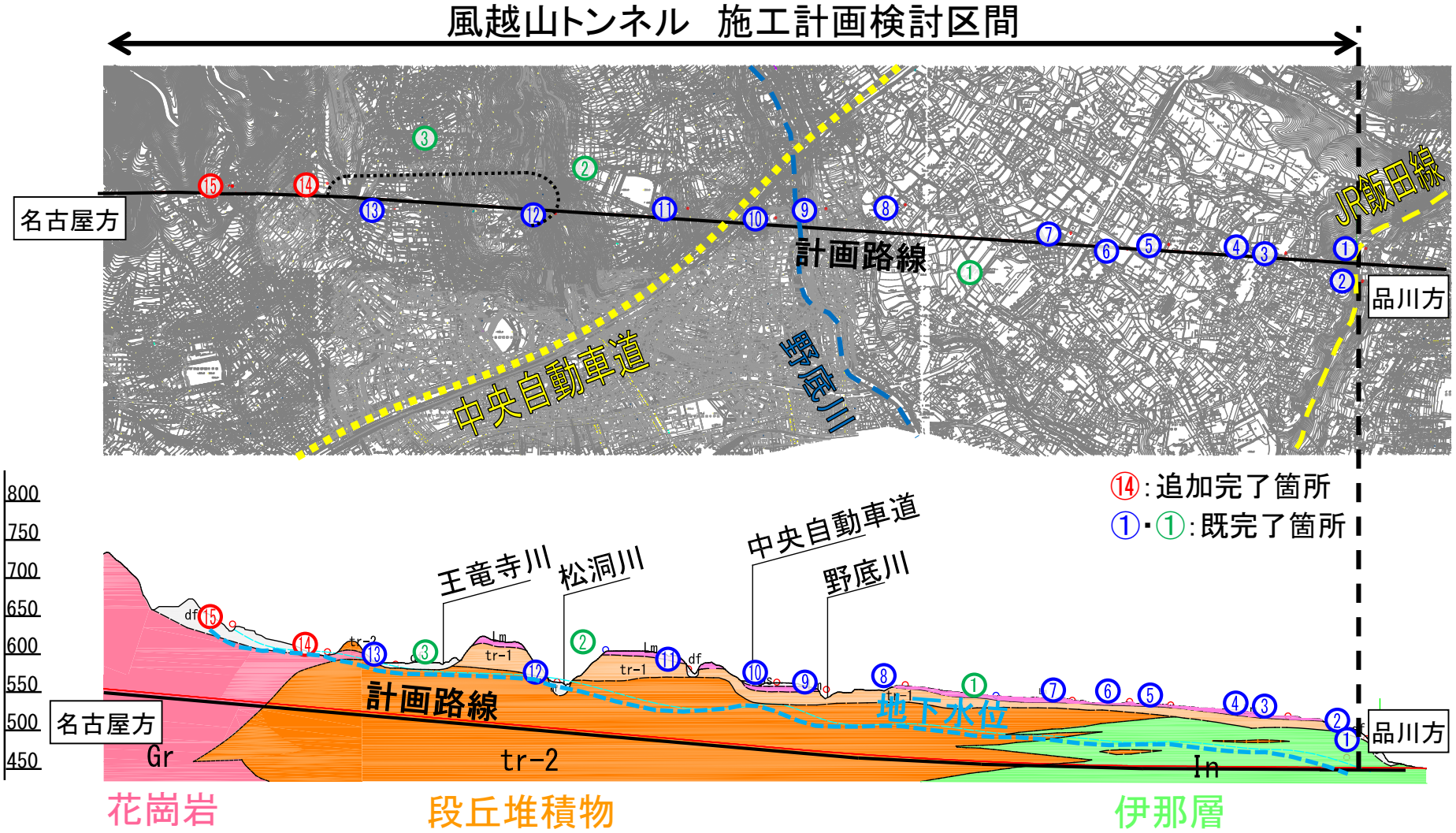
・水を通しやすい地質状況であること

・地表部と地下深くの地下水がつながっている可能性が高いこと

・多くの方が地下水をご利用されていること

以上の理由から、風越山トンネルの一部区間において、地下水への影響が小さいシールド工法の適用を検討してきました。

風越山トンネル地質調査の結果



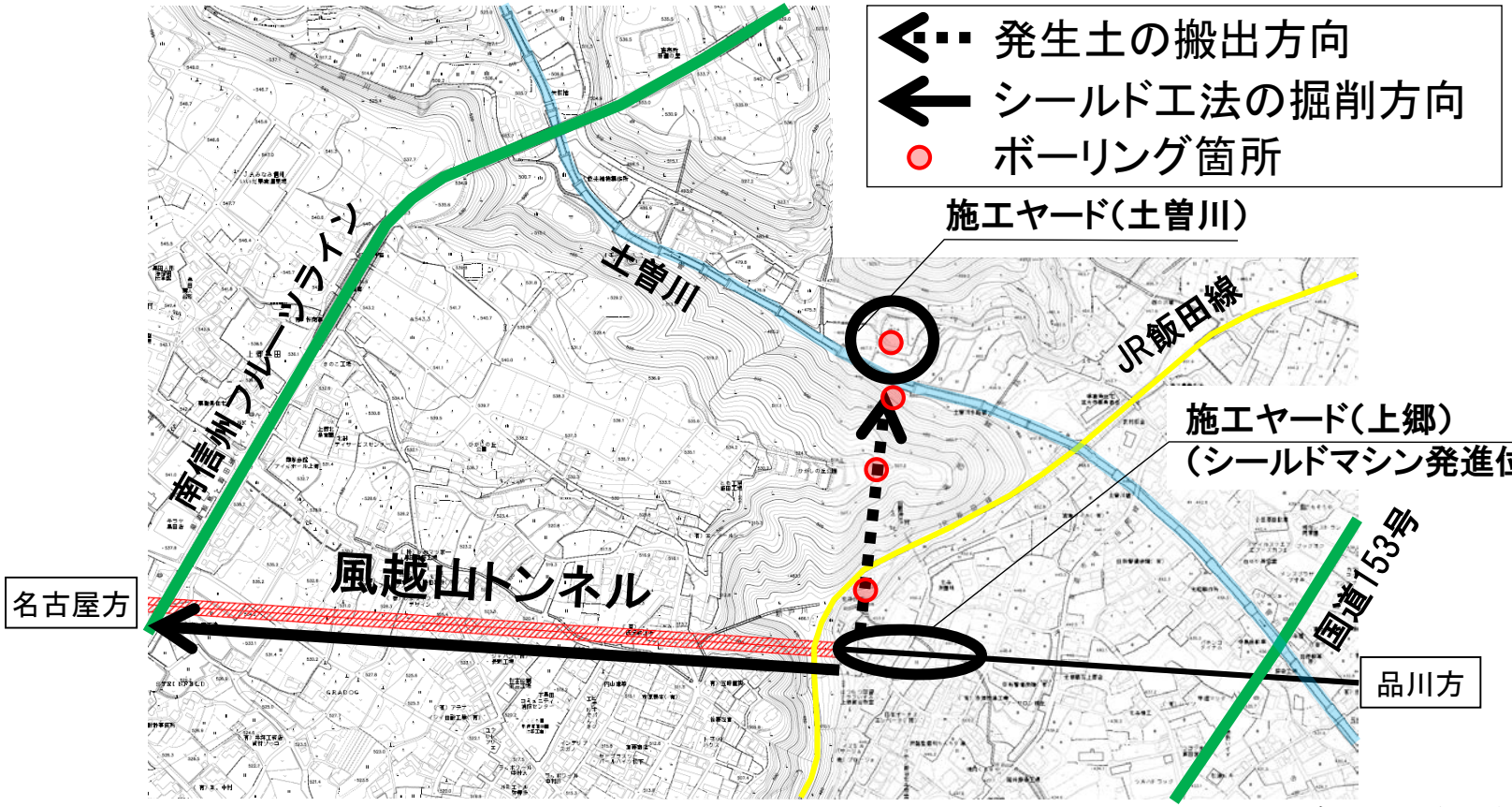
⑭～⑮において花崗岩が確認されたため、⑭付近まではシールド工法にて掘削を行います。

2018/6
北条地区説明会資料を更新

シールド発生土搬出方法の検討状況

シールド工事に伴う発生土を施工ヤード（上郷）から施工ヤード（土曽川）まで搬出する計画を詳細に検討するために、下記の赤丸地点において、地質調査（ボーリング調査等）を行いました。

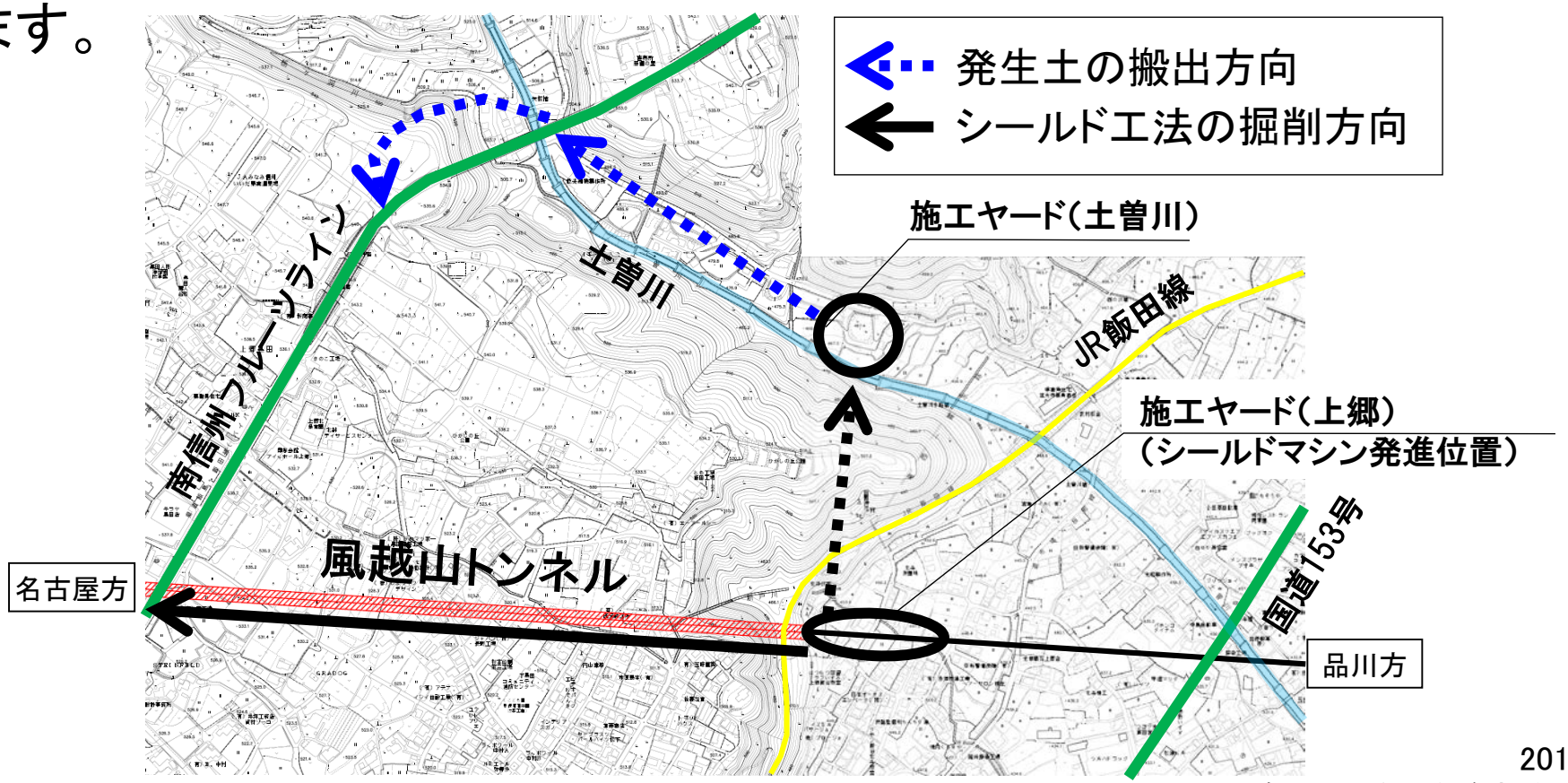
調査の結果、地質上はトンネル掘削が可能だと考えており、今後、関係機関との協議を行ってまいります。



2018/6
北条地区説明会資料を更新

シールド発生土運搬方法の検討状況

施工ヤード（土曽川）からの発生土の運搬については、市道宮崎唐洞線及び新設運搬路を検討しておりますが、発生土運搬車両の通行による影響を抑えるために、その時点でご協力いただけている座光寺上郷道路の事業用地を活用して工事用道路を設け、南信州フルーツラインを経由して発生土置き場へ運搬することを考えています。



2018/6
北条地区説明会資料を更新

今後のスケジュール

【シールド工事関係】

- 本線トンネルの設計等　（～令和2年春頃）
- セグメント関係の調査　（～令和2年春頃）
- 施工ヤードの検討　（～令和2年春頃）

【発生土運搬関係】

- ベルコントンネルの設計　（～令和2年春頃）
- 座光寺上郷道路の一部活用検討　（～令和2年春頃）
- 座光寺上郷道路の工事用道路設計　（～令和3年春頃）

【説明会関係】

- 計画の進捗に合わせて皆様にご説明いたします。